

## レイクヒル牧場道知事賞 「草づくり」コンクール

北海道草地協会が開催している「草づくりコンクール」で、町内花和のレイクヒル牧場（塩野谷幸一社長）が、最高の知事賞を受賞し、3月11日には、牧場長の塩野谷孝二さんが、役場を訪れ、町長に受賞の報告を行いました。

化成肥料の節減など、放牧地の土作りの徹底から良質な牧草の確保で、乳量をアップさせた先進的な経営が高い評価を受けました。塩野谷牧場長は「やり方が間違っていなかったということ自信になります」と喜びを語りました。

5月の全国コンクールに北海道代表として審査を受けることになっています。



知事賞を受賞した塩野谷牧場長(左)

## 「洞爺湖かるた」読み札の句採用 虻小5年生13人に感謝状

とうや湖温泉旅館組合女性部（中村百合子部長）は、3月12日虻田小学校を訪れ、募集した「洞爺湖かるた」の読み札の句に採用した同小5年生13人に感謝状を贈りました。

5年生は、「洞爺湖町のPR」を総合的な学習の時間のテーマとしていて、その一環で応募しました。

「やせがえる 洞爺湖来れば 太がえる」と詠んだ岡部太一くんばまわりのみんなに受けていたので、多少自信があった」と採用を喜んでいました。



感謝状を受ける虻田小学校の児童

財田自然体験ハウスでは、3月13日普段食べている豆腐がどのように作られているのか、実際に体験してみようと「豆腐づくり」が行われ、親子づれなど11人が参加して、初体験に挑戦しました。

同体験ハウス鈴木利典さんの指導で、洞爺で収穫した大豆を使って、生呉（なまご）作りから、ひとつづつ過程をふんで最後に寄せ豆腐を完成。残ったおからを使った「スコーン」づくりも同時に行われ、子供たちに大好評でした。



豆腐作りに挑戦する親子づれ

最後に試食を行い「大豆の香りが利いている」など自作の豆腐に舌鼓を打っていました。

## 財田自然体験ハウスで「とうふづくり」 出来立てに大満足

3月13日、図書まつり（教育委員会主催）が洞爺総合センターで開かれ、約40人の保育所園児や小学校低学年の児童らが参加して開かれました。

最初に、読み聞かせグループ「たんぼぼの会」のみなさんによる絵本の読み聞かせが行われ、子ども達は食い入るように絵本を見つめていました。

引き続きアフリカ太鼓「トヤトヤ」の皆さんによる太鼓演奏が披露され、軽快なリズムが響き渡ると子供たちもいっしょに踊りだし、歓声が場内にとどろいていました。



トヤトヤのみなさんと共演する子どもら

## 図書まつりで読み聞かせ アフリカ太鼓に歓声響く

# まちのわだい

